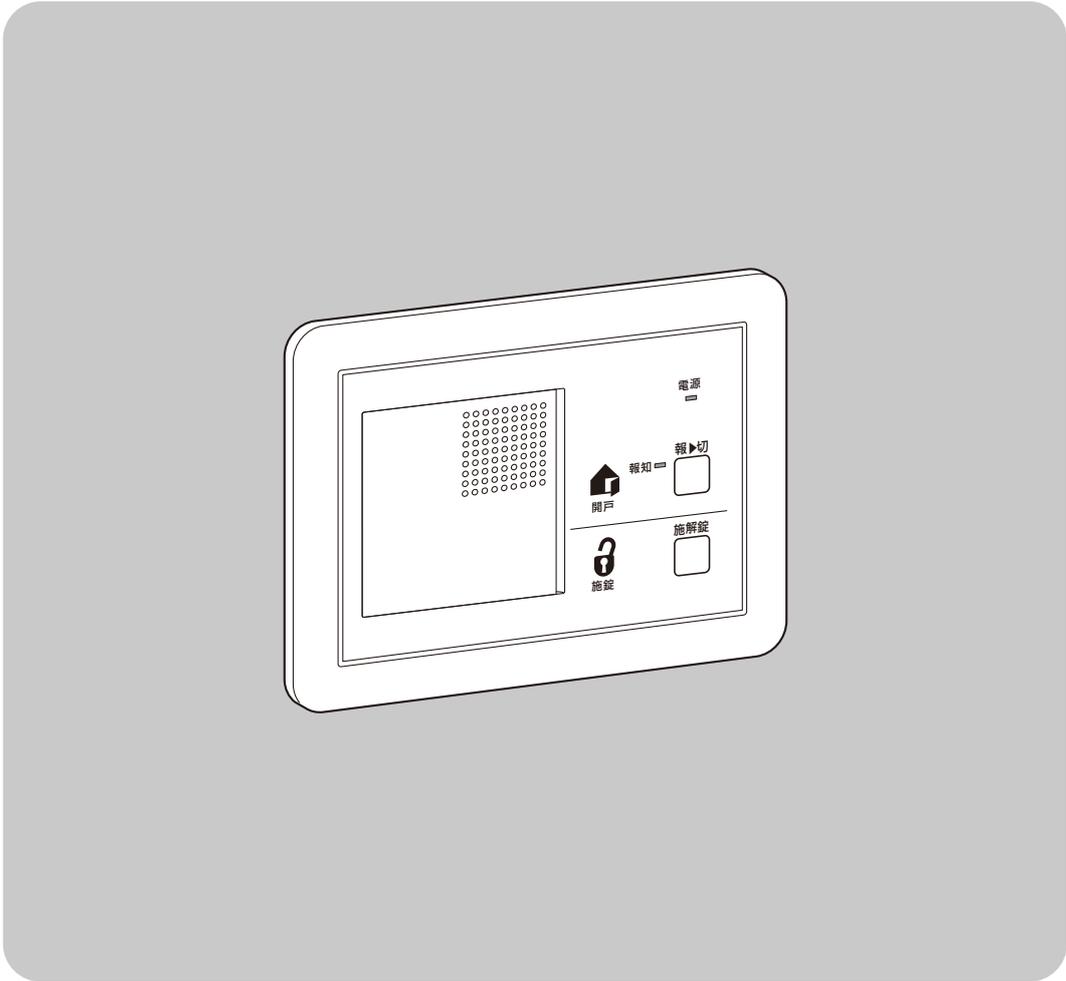


システムキー

取付け説明書



取付け作業にあたって

- この説明書では、お客さまの安全と製品を正しく取付けしていただくにあたり、重要な内容を記載しております。ご留意いただき、作業してください。



電気錠に関するトラブル診断やご使用方法などがご確認いただけます。

玄関ドア 電気錠サポート

<https://www.lixil.co.jp/support/q/d/de03.htm>

目次

	ページ
■取付けされる方へのお願い 機器の設置で注意して頂きたいこと	1
■システム構成と作業手順	
取付け部品一覧	2
電気錠取付け手順	3
梱包内容の確認	3
■ドア枠への部品取付け	
①躯体内配線コードの接続	4
■ドア本体への部品取付け	
①シリンダーの取付け	5
②コネクターの接続、把手の取付け	6・7
③室内側化粧プレートの取付け	8
■建付けの調整	
①ストライクの調整－ 1 ＜上側ストライク＞	
②ストライクの調整－ 2 ＜上側ストライク、下側ストライク＞	9
■機器の取付け、配線工事	
コントローラーユニットの取付け	10
配線工事方法	11・12
パナソニック製 外でもドアホン 使用時の接続について	13
システム配線図（オプション品）	14
■動作確認	
コントローラーユニットの 動作確認	15
リモコンキーを使った動作確認	16
ドアのブザー音と表示について	17
コントローラーユニットの ブザー音と表示について	18
リモコンキーのランプ表示に ついて	
■商品仕様	19

取付けされる方へのお願い

●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

⚠ 警告 …取付けを誤った場合、使用者などが死亡または重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠ 警告

- 電気工事は、電気工事士の有資格者が行ってください。法令、規定及び取付け説明書にしたがわず誤った工事を行うと事故や故障につながります。
- AC100V 用電源線は指定の箇所に指定の方法通りに差込んでください。差込みが不十分な場合、発熱するおそれがあり、火災や破損につながります。
- コントローラーユニットなど AC100V を直接接続する機器の取付けは、ブレーカー (AC100V) を切った状態で行ってください。感電の原因になります。

■機器の設置で注意して頂きたいこと

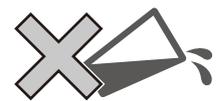
●次のような場所への玄関ドアの設置は避けてください。故障や正しく作動しない原因になります。

- ・軒が短く扉に直接雨水がかかる場所。
- ・他の電波式機器や他の電気錠のドアから 2m 以内のところ。
- ・電子レンジなどの電波的なノイズを出す電化製品から 1m 以内のところ。
- ・玄関ドアが電波を通しにくい壁や金属物で囲まれているところ。
- ・本製品の使用環境温度範囲は $-10^{\circ}\text{C} \sim 50^{\circ}\text{C}$ 、使用周囲湿度範囲は 20% ~ 90% RH です。温度が上昇する場所 (直射日光・直接暖房が当たる場所・ボイラーの近くなど) や -10°C よりも温度が低くなる場合がある場所、通気性が悪く湿気が多いところには使用しないでください。また、寒冷地では、風除室を設置してご使用をおすすめします。



●屋内に取付ける機器 (コントローラーユニットなど) は、次のような設置場所は避けてください。故障や感電等の原因になります。

- ・水や雨のかかる場所や直接湯気がかかる場所、湿気が多い場所
- ・極端に寒い場所・暑い場所 (冷暖房の近くや直射日光の当たる場所)
- ・ガラス窓から近い場所 (ガラスを破られ、施錠ボタンから解錠されるおそれがあります。)



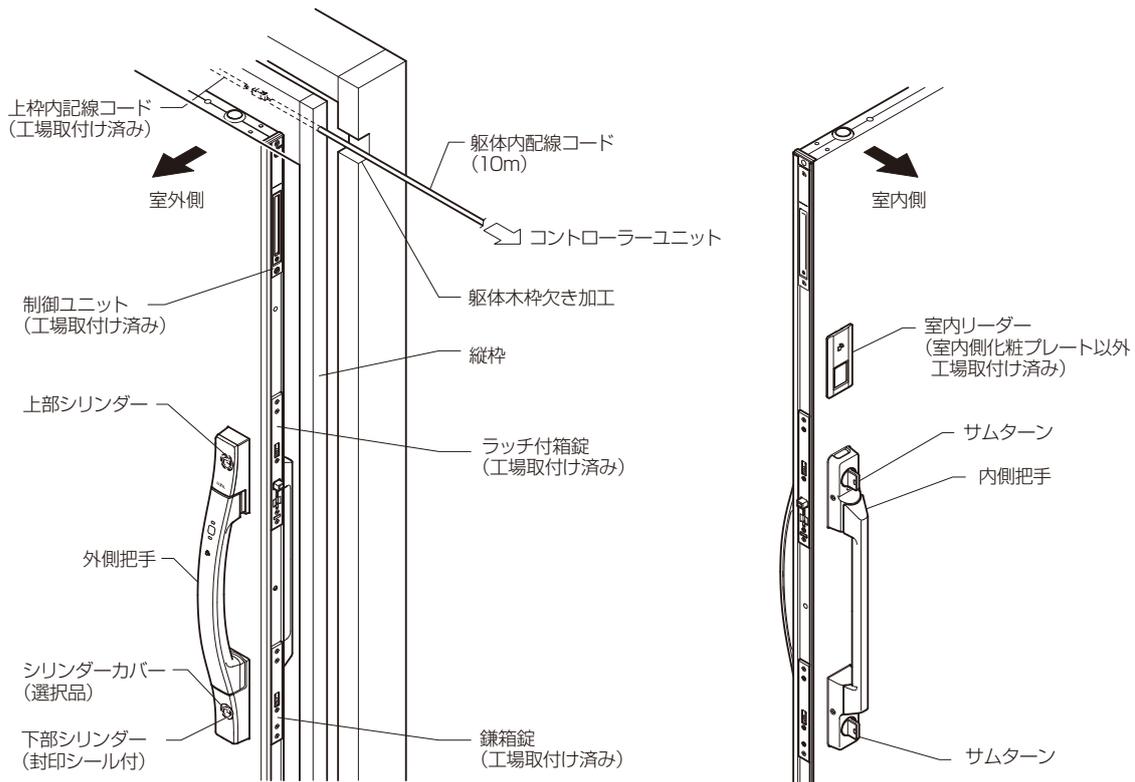
●玄関ドアとコントローラーユニット間が付属の躯体内配線コード (10m) で届かない場合は専用の躯体内配線コード (15m、20m) に取り換えてください。配線を継ぎ足す延長はできません。

●リモコンキーの取扱いについては以下の点にご注意ください。

- (1) 落下などによる衝撃や強い力を加えないでください。壊れるおそれがあります。
- (2) 水の中に落とす、流水をかけるなどは行わないでください。
- (3) 車内など高温になる場所で保管しないでください。
- (4) 電源 ON 状態のリモコンキーをテレビやパソコンなど電磁波を発する機器の近くや 135kHz 帯の電波を利用している機器 (玄関ドアを含む) の周辺には置かないでください。電池寿命が短くなります。

システム構成と作業手順

■取付け部品一覧



■電気錠取付け手順

- 電気錠の取付け手順の一例と本紙に記載している内容を以下にまとめてあります。作業区分がサッシ工事と電気工事に分かりますので作業に抜けやモレが無きように進めてください。

サッシ工事区分

ドア枠の組立て、部品の取付け

- 躯体内配線コード (10m) の接続 → (P.4)

ドア本体へ部品の取付け

- ①シリンダーの取付け → (P.5)
- ②コネクターの接続、把手の取付け → (P.6~7)
- ③室内側化粧プレートの取付け → (P.8)

躯体へのドアの取付け、建付け調整

- 躯体木枠への配線用切り欠き加工 (※ 2) → 『枠の取付説明書』
- 本体を枠に吊り込み
- ストライクの調整 → (P.9)

電気工事区分

機器の取付け、配線工事

- コントローラーユニットの取付け → (P.10)
- 配線工事方法 → (P.11~14)

動作確認

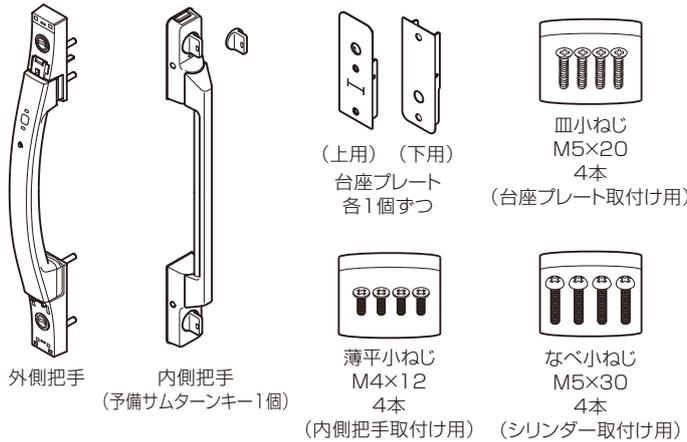
- コントローラーユニットの動作確認 → (P.15)

- リモコンキーを使った動作確認 → (P.16)

※本紙には「躯体木枠への配線用切り欠き加工」についての記載がありません。枠に同梱されている「枠取付け説明書」を参考に作業を行ってください。(大工工事も含まれます)

■梱包内容の確認

●システムキー部品箱

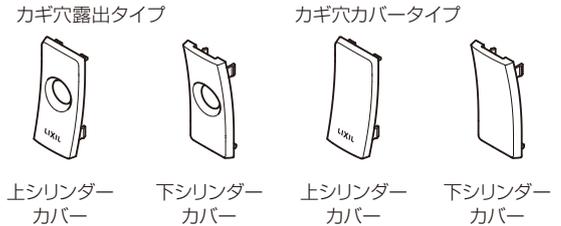


■別途手配品

・シリンダーセット



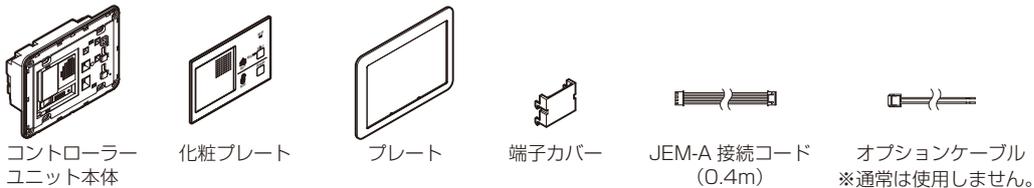
・シリンダーカバーセット



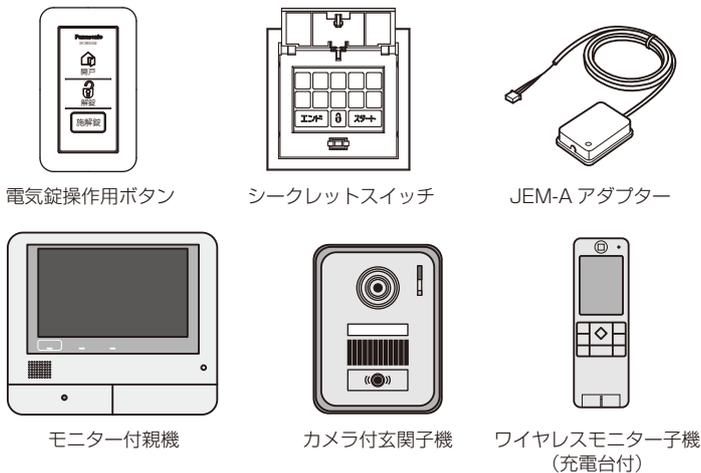
※シリンダー部
カギ穴あり/なし選択可能です。

●入力電源部品

別途手配品(コントローラーユニットセット)

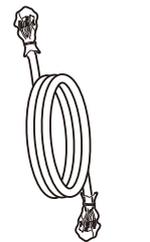


●オプション品(コントローラーユニットを使用し拡張する場合)



※パナソニック株式会社の製品です。
機器の問合せはパナソニック株式会社へお問合わせください。

初期同梱の10mでは足りない場合に交換してください。



躯体内配線コード(15・20m)

ドア枠への部品取付け

① 躯体内配線コードの接続

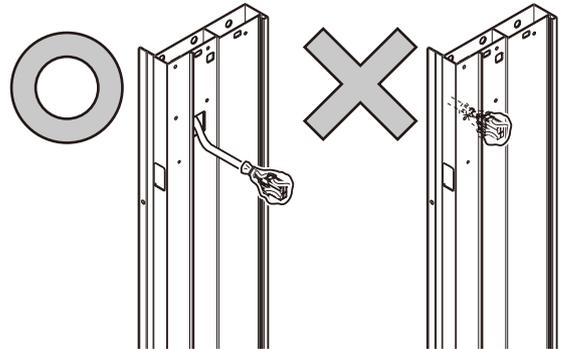
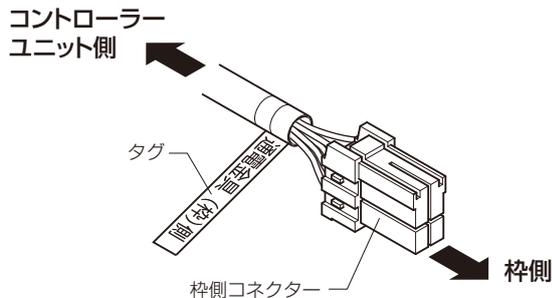
※1 躯体内配線コードは必ず組立て前に枠内に通してください。

※2 部品箱に躯体内配線コード（10m）が同梱されています。長さが足りない場合は、別途有償品の躯体内配線コード（15m、20m）を手配してください。初期同梱の10m配線からの継ぎ足し延長はできません。

お願い

① 躯体内配線コードは、コネクタ形状の違いにより、向きがあります。枠内に通す前に必ず、タグの表示内容とコネクタ形状を確認し、躯体内配線コードの向きが正しいことを確認してください。

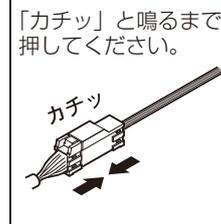
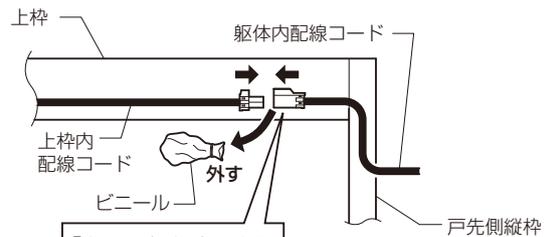
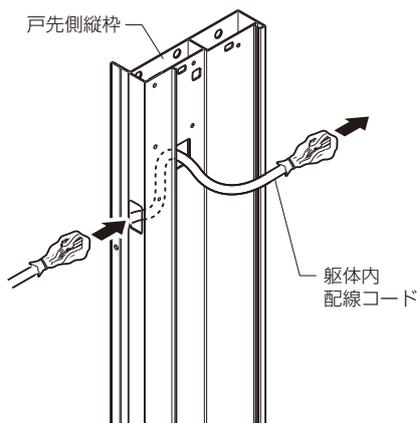
② 躯体内配線コードの枠側コネクタは上枠内でコネクタ接続しますので、切欠き穴から確実に引き出してください。



③ 躯体内配線コードを通した後は、枠にキズをつけないようにテープなどでコネクタを固定してください。

① 躯体内配線コードを戸先側縦枠に通してください。

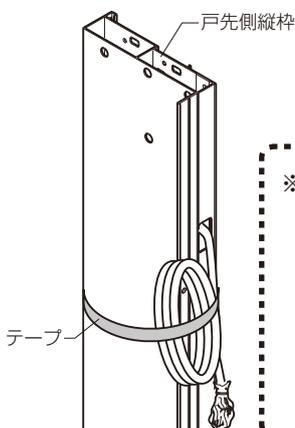
② コネクタを上枠内配線コードに接続します。



お願い

※コネクタ部は、上枠内に収納してください。メンテナンス時に部品の点検・交換ができなくなります。

③ 躯体側の配線をテープなどでまとめます。



お願い

※ドア枠内の配線コードにはテンションがかからないようにしてください。接触不良により不具合のおそれやメンテナンス時に部品の交換ができなくなります。躯体側コネクタのビニールはコネクタ接続時まで剥がさないでください。

ドア本体への部品取付け

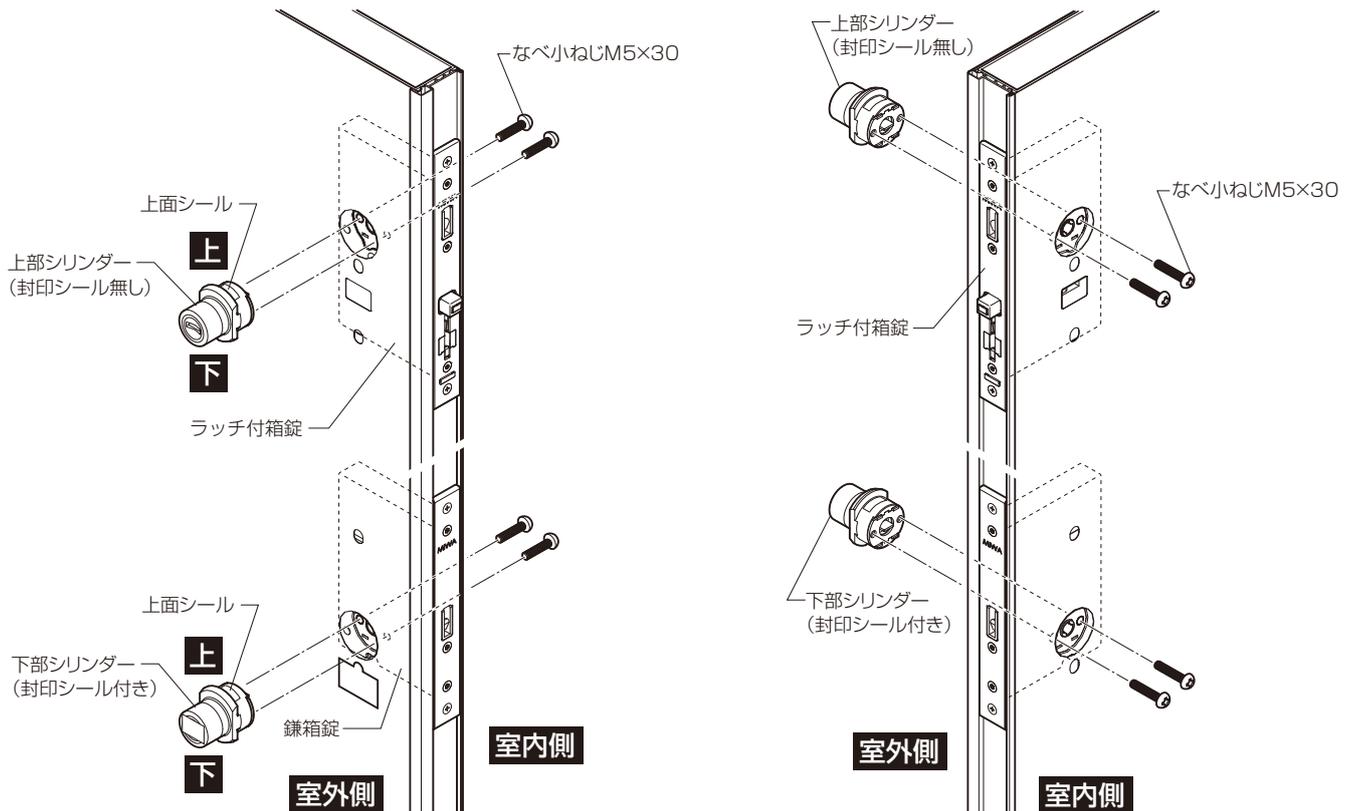
① シリンダーの取付け

①-1 上部シリンダーの取付け

- ① 上部シリンダー(封印シール無し)の「上面」シールを上に向けます。
- ② シリンダー背面の出っ張り(4ヵ所)を、ラッチ付箱錠(上部箱錠)の角穴に合わせて差込みます。
- ③ 室内側から、シリンダーを箱錠になべ小ねじで固定します。

①-2 下部シリンダーの取付け

- ① 下部シリンダー(封印シール付き)の「上面」シールを上に向けます。(封印シール文字が読めるように上に向けます。)
- ② シリンダー背面の出っ張り(4ヵ所)を、鎌箱錠(下部箱錠)の角穴に合わせて差込みます。
- ③ 室内側から、シリンダーを箱錠になべ小ねじで固定します。



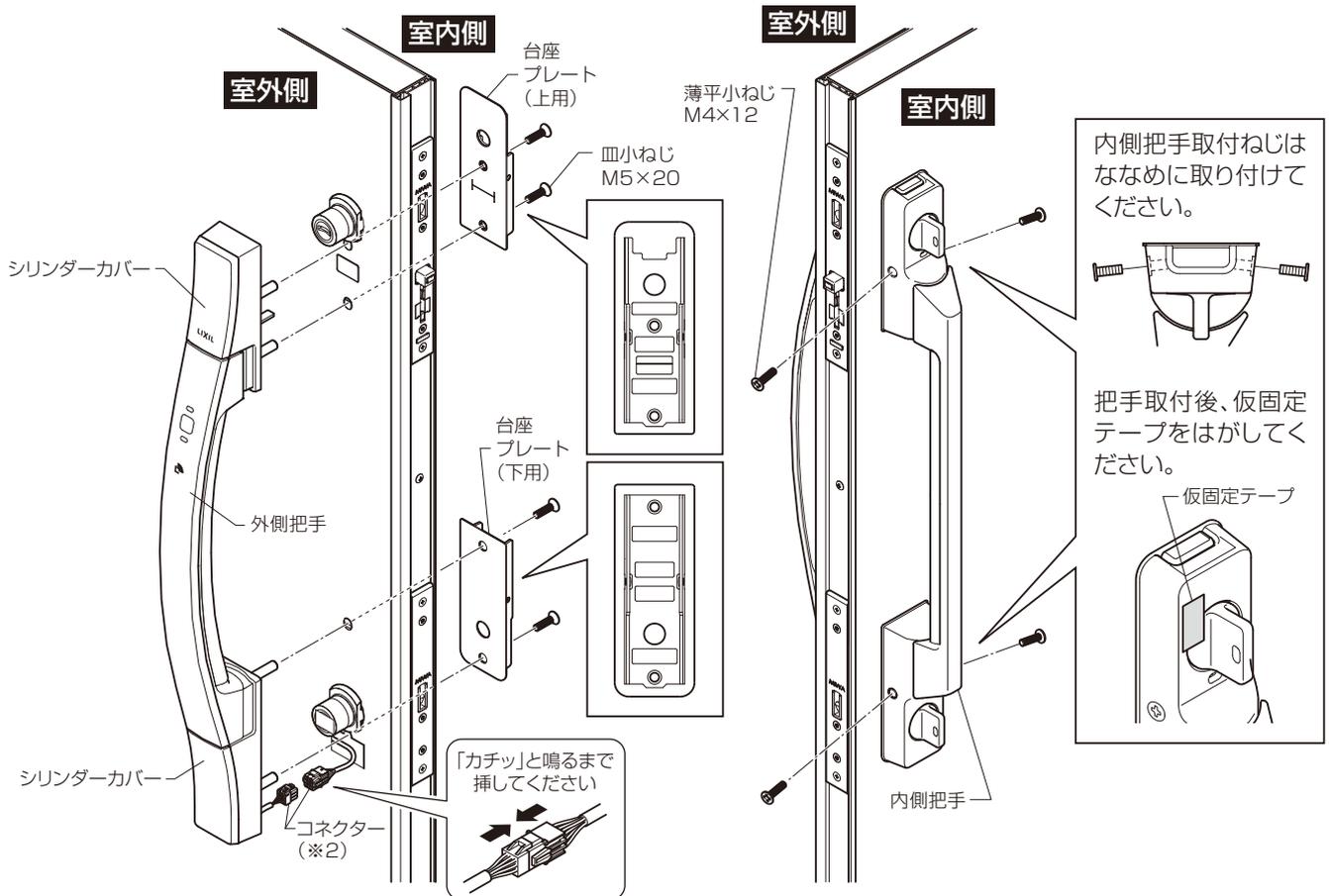
■ コンストラクション装置について

- 封印シールが張られていないシリンダーには、コンストラクション装置が組込まれています。施工の際は、工事専用のコンストラクションキーをご使用ください。施工後、お施主さま専用キーを使用するとコンストラクション装置が解除され、以後はお施主さま専用キーでなければ開閉できません。
- 封印シールが張られているシリンダーには、コンストラクション装置が組込まれていません。



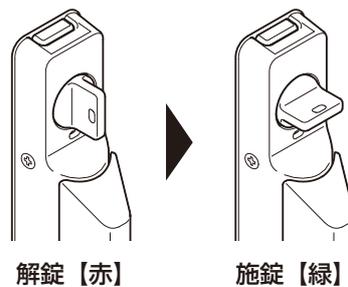
②コネクターの接続、把手の取付け

- ①ドア本体の把手取付け加工(下部)からコネクターを引き出します。
- ②外側把手のコネクターが出ている側を下に向けます。
- ③コネクターを接続します。
- ④外側把手を室外側からドアの切欠きに合わせて差込みます。(落下防止のため、⑤で固定するまで手を離さないください。) このとき、余った配線はドア本体内に収納し、把手の取付け時に配線を挟み込まないように十分注意してください。
- ⑤台座プレートと外側把手を皿小ねじで固定します。
- ⑥サムターンを縦にした状態で、サムターンの軸を上下箱錠の穴に合わせ、内側把手を台座プレートに差込みます。
- ⑦内側把手を薄平小ねじで台座プレートに固定します。
- ⑧外側把手にシリンダーカバーを取付けます。(P.7「シリンダーカバーの取付方法」参照)



※2 図はタッチキー/システムキー用(9ピン)です。
カザスプラスの場合、12ピンコネクターとなります。

■サムターンの向きと表示



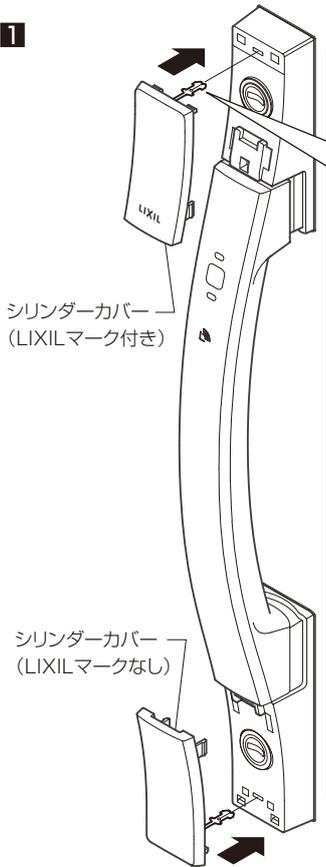
■セキュリティサムターンつまみの取り外し



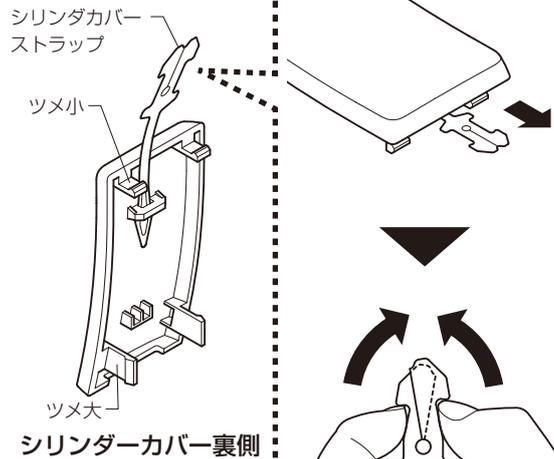
■シリンダーカバーの取付け方法

- シリンダーカバーはキズ・破損防止のため、施工完了後に取り付けてください。
- ※シリンダーカバーカギ穴露出タイプの場合は**2**のみ

1

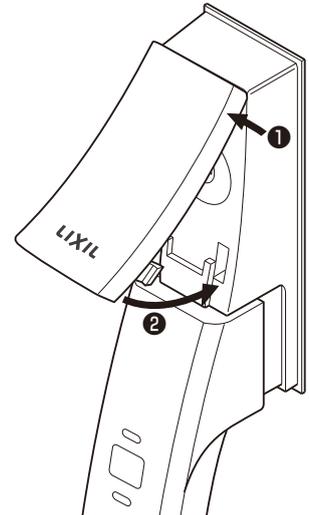


シリンダーカバーストラップを引出し、先端が細くなるように交差させ、シリンダー台座についている穴に差込んでください。
※取付けの向きに注意してください。

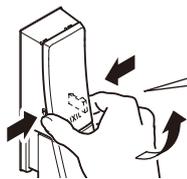


2

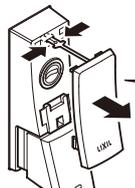
シリンダーカバー先端のツメ小を、先に台座の溝にはめ、**(1)** ツメ大からカチッと音がするまで確実に閉めてください。**(2)**



■シリンダーカバーの外し方

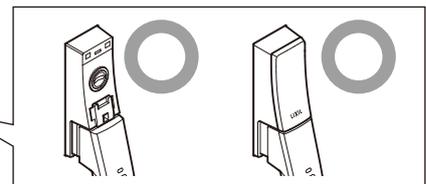
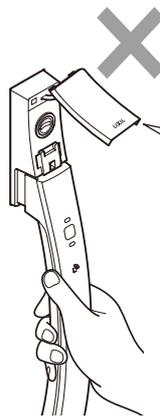


シリンダーカバーの下部(グリップに近い部分)を軽くつまんで引っ張ると外れます。



ストラップの側面を押しながら引き抜いてください。

■把手操作時のお願い



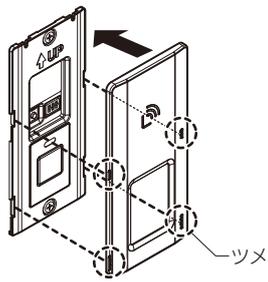
シリンダーカバーをストラップにぶら下げたまま扉を開閉しないでください。シリンダーカバーにキズがつくおそれがあります。必ずカバーを台座へはめるかストラップから外した状態で操作してください。

③室内側化粧プレートを取付け

③ リーダーに室内側化粧プレートを取付けます。



ツメ位置を合わせ、化粧プレートをはめてください。



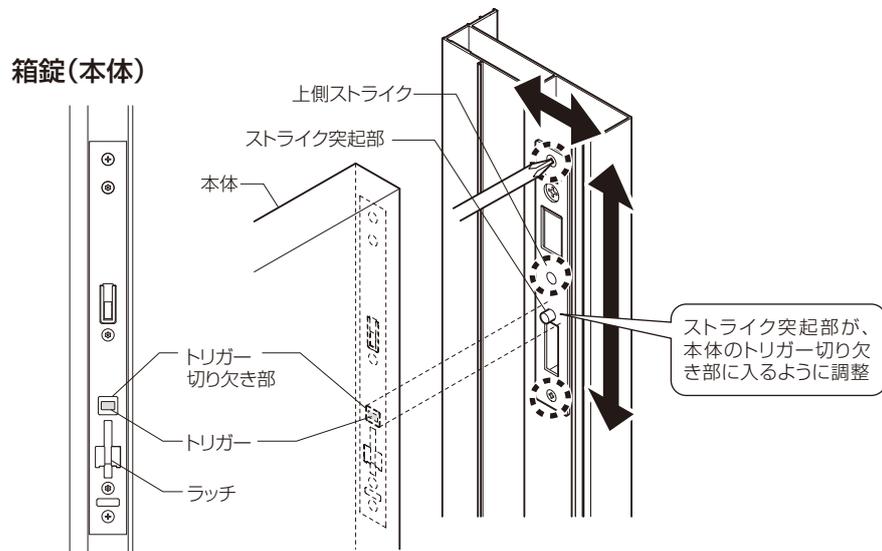
化粧プレートの周囲にスキマが無いように付け、下にスライドさせてください。



建付けの調整

①ストライクの調整－ 1 <上側ストライク>

- ラッチがかからない場合は、上側ストライクの位置を調整してください。
- ストライクの突起部が箱錠(本体)のトリガー切り欠き部に入るように調整してください。



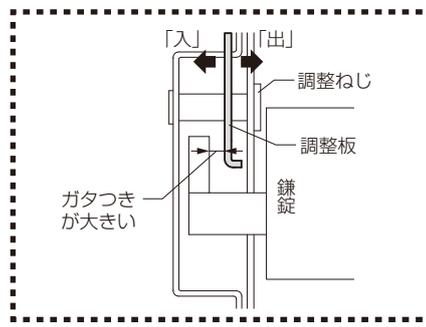
②ストライクの調整－ 2 <上側ストライク、下側ストライク>

- ラッチがかかった状態でサムターンを回し、カギがスムーズにかかるか電動で作動するかを確認してください。カギがスムーズにかからない場合は、ストライクの取付けねじをゆるめ上下室内外の位置を調整してください。カギがスムーズにかかって、ラッチ解除時に開方向のガタつきが大きい場合は上、下ストライクの調整ねじで調整板の位置を調整してください。また、上下のカギをかけた状態で、ラッチを解除させ、リモコンキーもしくはタッチボタンで作動することを確認してください。

■カギがスムーズにかからない場合



■開方向のガタつきが大きい場合 「入」方向に回してください



機器の取付け、配線工事

機器の取付け、配線工事をするには電気工事士の資格が必要です。

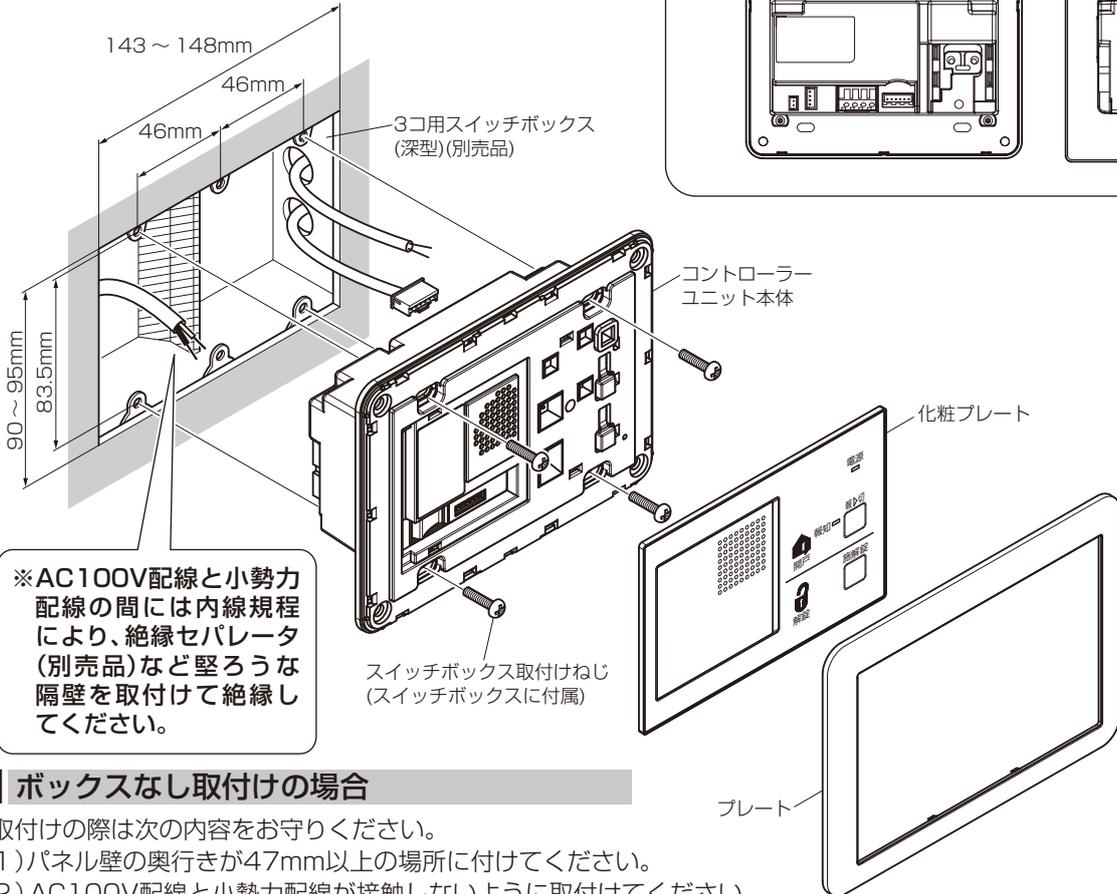
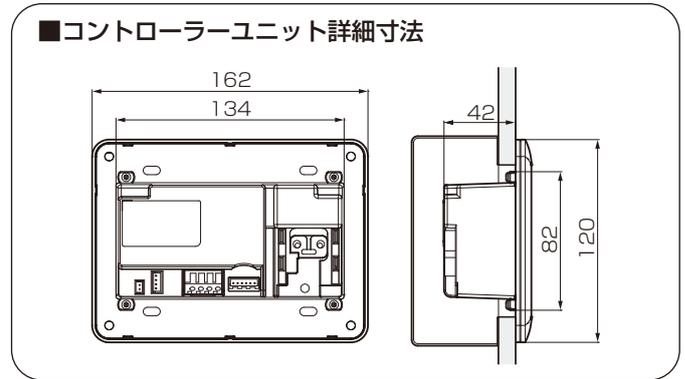
■コントローラーユニットの取付け

●コントローラーの取付けは、『(P.1)機器の設置で注意して頂きたいこと』を守って以下の通り、設置してください。

1 ボックス取付けの場合

●プレート、化粧プレートをコントローラーユニットから一旦外し、P.11・12『■配線工事方法』と下の図を参考に取付けを行ってください。

※ねじの締付けトルク(推奨)：0.6N・m (6kgf・cm)



※AC100V配線と小勢力配線の間には内線規程により、絶縁セパレータ(別売品)など堅ろうな隔壁を取付けて絶縁してください。

2 ボックスなし取付けの場合

●取付けの際は次の内容をお守りください。

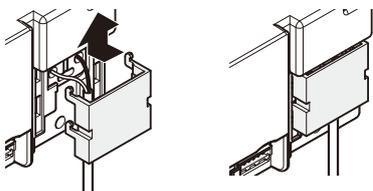
- 1) パネル壁の奥行きが47mm以上の場所に付けてください。
- 2) AC100V配線と小勢力配線が接触しないように取付けてください。
- 3) 壁に埋込む商品ですので、商品埋込み深さおよび配線スペースに注意してください。
- 4) 端子カバーを取付けてください(詳細は下記「端子カバーについて」を参照ください。)
- 5) 下記、はさみ金具(別売品)を使用してください。

端子カバーについて

AC100V端子にグラスウールなどが接触するときは、内線規定により、端子カバーを取付けてください。

■端子カバーの付け方

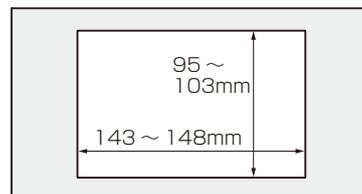
ツメをミゾ(4カ所)に差込み、上へあげます。
(外すときは、逆の手順になります。)



■適用はさみ金具(別売品)

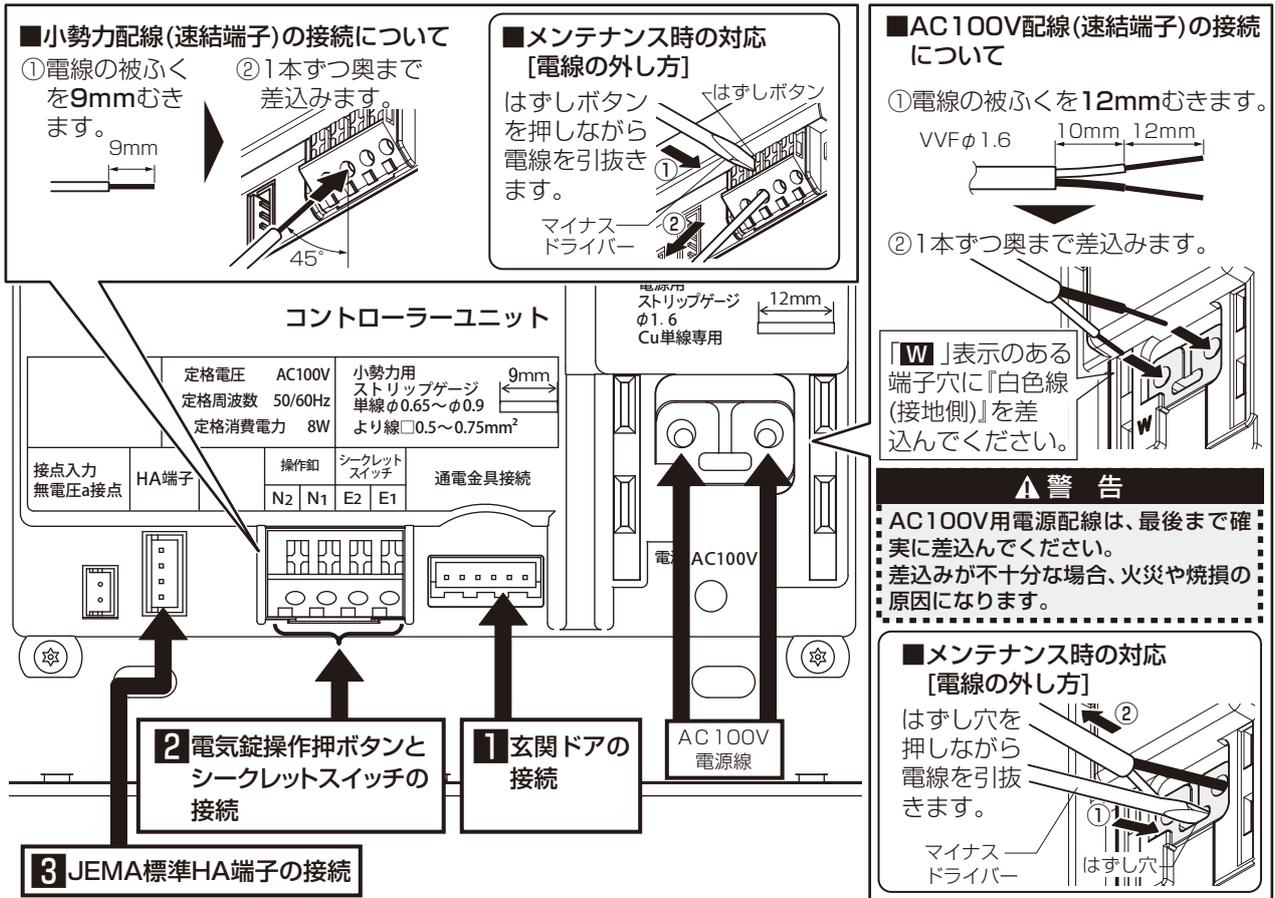
対象壁	パナソニック(株)製はさみ金具品番
9~30mm厚の石膏ボードまたは合板	WN3998

■壁の穴あけ寸法



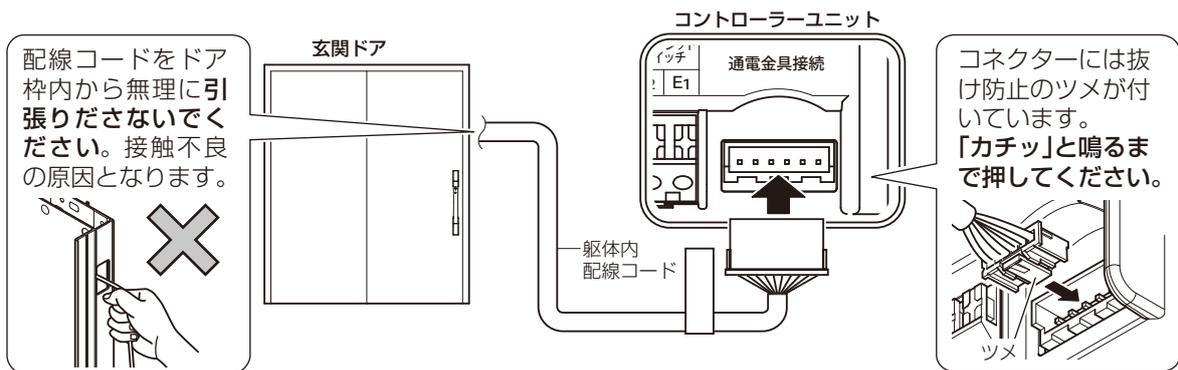
その他オプション品の取付けは、各器機に付属されている説明書に添って作業を行ってください。

配線工事方法

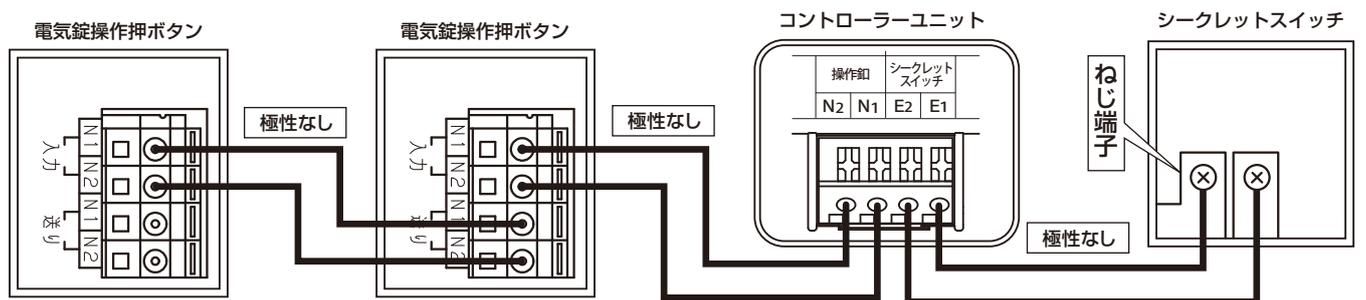


1 玄関ドアの接続

- 躯体内配線コード(10m)が届く範囲にコントローラーユニットを設置してください。
- ※ オプションの躯体内配線と交換で最大20mまで延長可能。継ぎ足しによる延長はできません。



2 電気錠操作押ボタンとシークレットスイッチ (オプション品) の接続

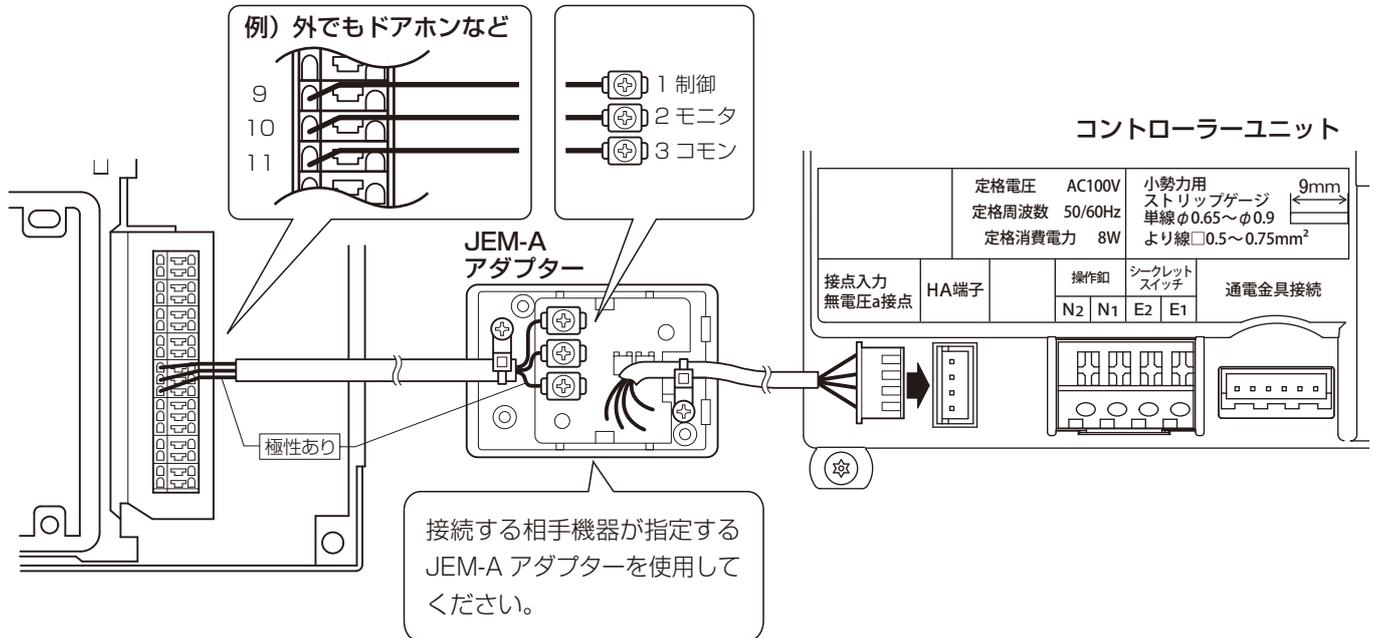


操作押ボタンは8台まで接続可能。

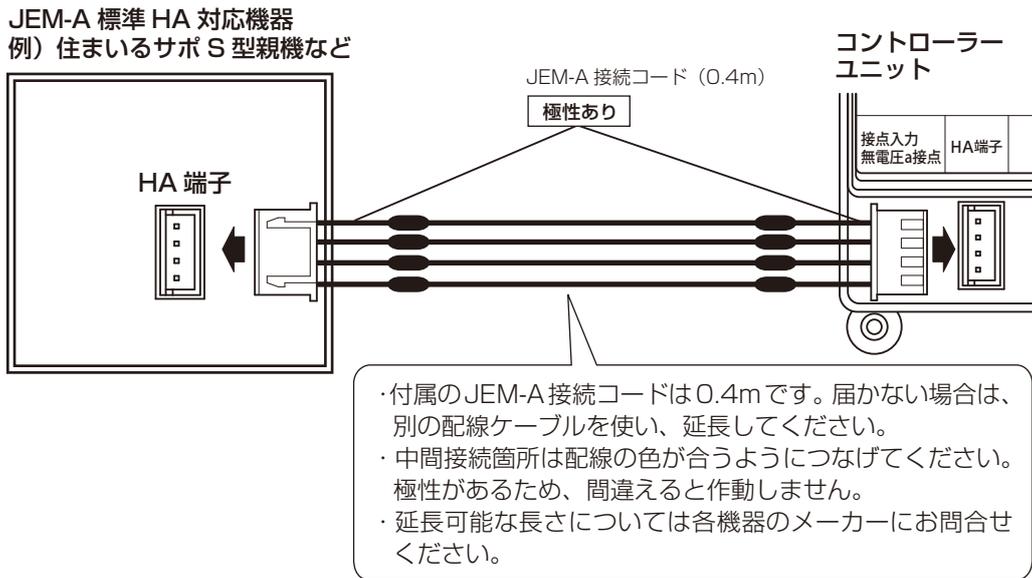
それぞれの配線ケーブルの合計が50m以内になるように設置ください。

3 JEM-A 標準 HA 端子との接続

■JEM-Aアダプターを使用する機器と接続する場合



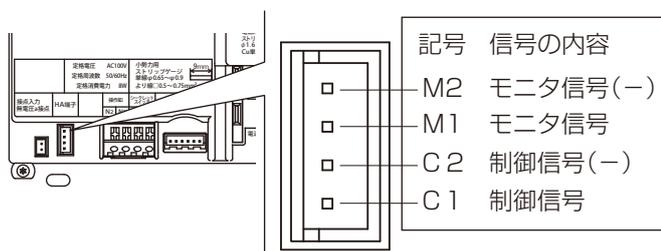
■JEM-A標準HA端子を持っている機器と接続する



■JEM-A標準HA端子について

コントローラーユニットはHA端子を装備しておりJEM-A 標準 HA 対応で電気錠と接続できると記載がある機器と接続することが可能です。また、その機器から解錠/施錠の遠隔操作を行うことができます。

コントローラーユニットのHA端子について



●モニタ信号

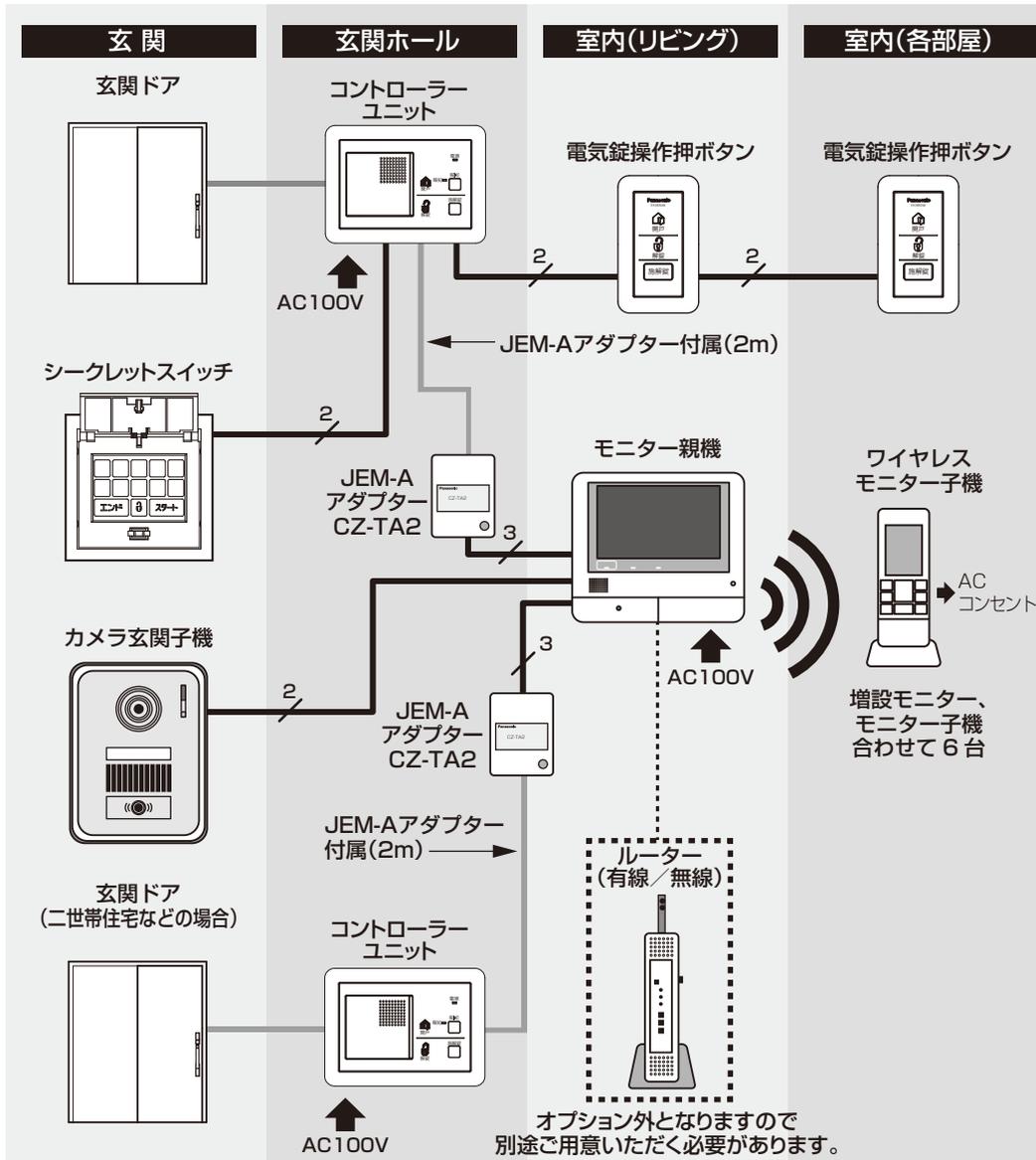
- ・施錠時 M1 端子がHigh(M1-M2端子間に15V/6mA)
- ・解錠時 M1 端子がLow(M1-M2端子間に0V)

●制御信号

- ・C1-C2端子間に0.2~0.3秒の無電圧a接点入力(短絡)で電気錠が反転動作
- ※反転動作とは施錠中は解錠、解錠中は施錠する動きのことです。

■パナソニック製 外でもドアホン使用時の接続について

1 接続例



- [—] の配線コードは、付属品です。
- [—] の配線コードは、現場手配品です。AE線などの平行ポリエチレン絶縁ビニール被ふくケーブルを手配し、下記「接続可能距離」を参考に施工してください。

※コントローラーユニットには掲載品以外のJEM-A接続に対応しているドアホンを接続して使用できます。

	単芯線: φ0.65~φ0.9
コントローラーユニット ~モニター親機	2m + 30m
コントローラーユニット ~電気錠操作	50m
コントローラーユニット ~シークレットスイッチ	
モニター親機 ~玄関子機	100m
コントローラーユニット ~玄関ドア	躯体内配線コード (10-15-20m) 使用

2 取付け用現場手配部品一覧

商品名	取付け用部材(※1)
コントローラーユニット	JIS 3コ用スイッチボックス(深型)(※2)(※3) パナソニック(株)製 押さえ金具3連(品番:WN3998)(※2)
電気錠操作押ボタン	JIS 1コ用スイッチボックス はさみ金具 押さえ金具(1連用)
取付プレート(操作押ボタン用)	
シークレットスイッチ	JIS 2コ用スイッチボックス(カバー付)
取付プレート(シークレットスイッチ用)	
モニター親機	JIS 1コ用スイッチボックス(※3)(※4)
カメラ玄関子機	JIS 1コ用スイッチボックス(※4)

※1) 各機器の取付けには、上記部材の内、いずれか1つが必要になります。はさみ金具、押さえ金具に品番が記載されている場合は、記載されている品番以外のものは使用できません。取付け用部材は取付ける壁仕様により異なりますので、詳しくは各機器の施工説明書をご確認ください。(木壁の場合、取付け用部材を使用せずに直付け可能な機器もあります)

※2) 取付けの壁面より、奥行きは47mm以上必要になります。

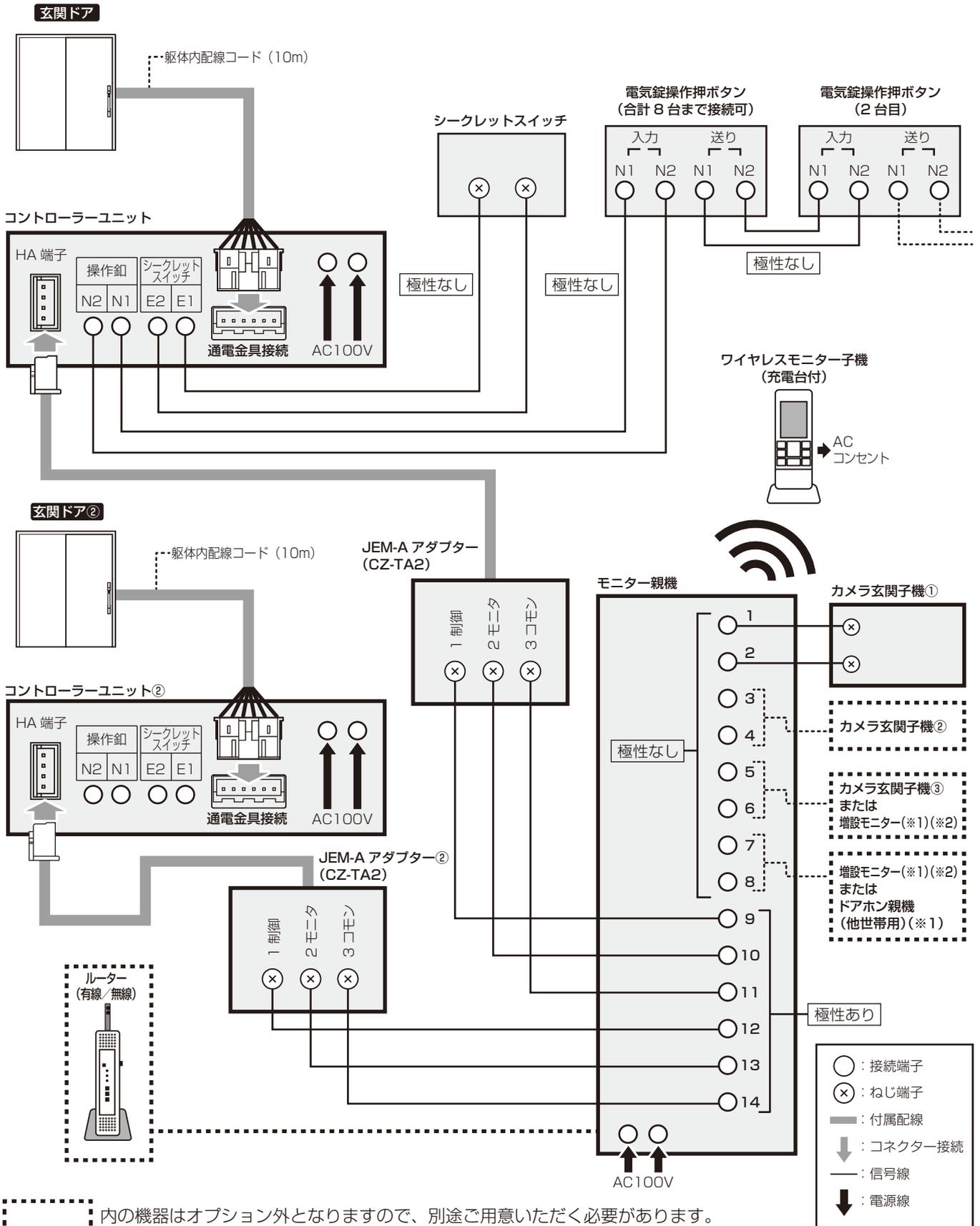
※3) スwitchボックスを使用する場合は、内線規程により、ボックス用絶縁セパレータをご使用ください。

※4) 木壁の場合、取付け用部材を使用せず、付属の取付けねじで直付け可能です。

※配線ケーブルは、「システム配線図」を参考に手配してください。なお、複数の機器間の配線ケーブルを同一シースで配線することはできません。

※さらに部品を追加する場合は、「外でもドアホン取扱説明書・施工説明書」を確認ください。

■システム配線図 (オプション品)



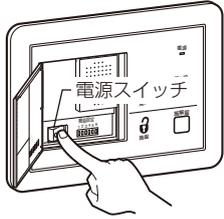
内記の機器はオプション外となりますので、別途ご用意いただく必要があります。

※1) カメラ玄関子機を3台接続した場合、増設モニターとドアホン親機(他世帯用)はどちらか一方しか接続できません。
 ※2) 増設モニターは1台まで、ワイヤレスモニター子機と合わせ6台までとなります。詳しくは「外でもドアホン取扱説明書・施工説明書」をご確認ください。

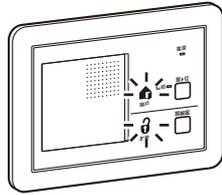
動作確認

■コントローラーユニットの動作確認

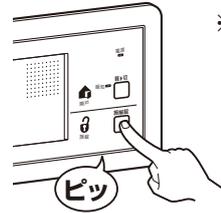
①コントローラーユニットの電源を入れます。



②開戸表示と解錠表示が正しく点灯、消灯するか確認します。
→(P.18)



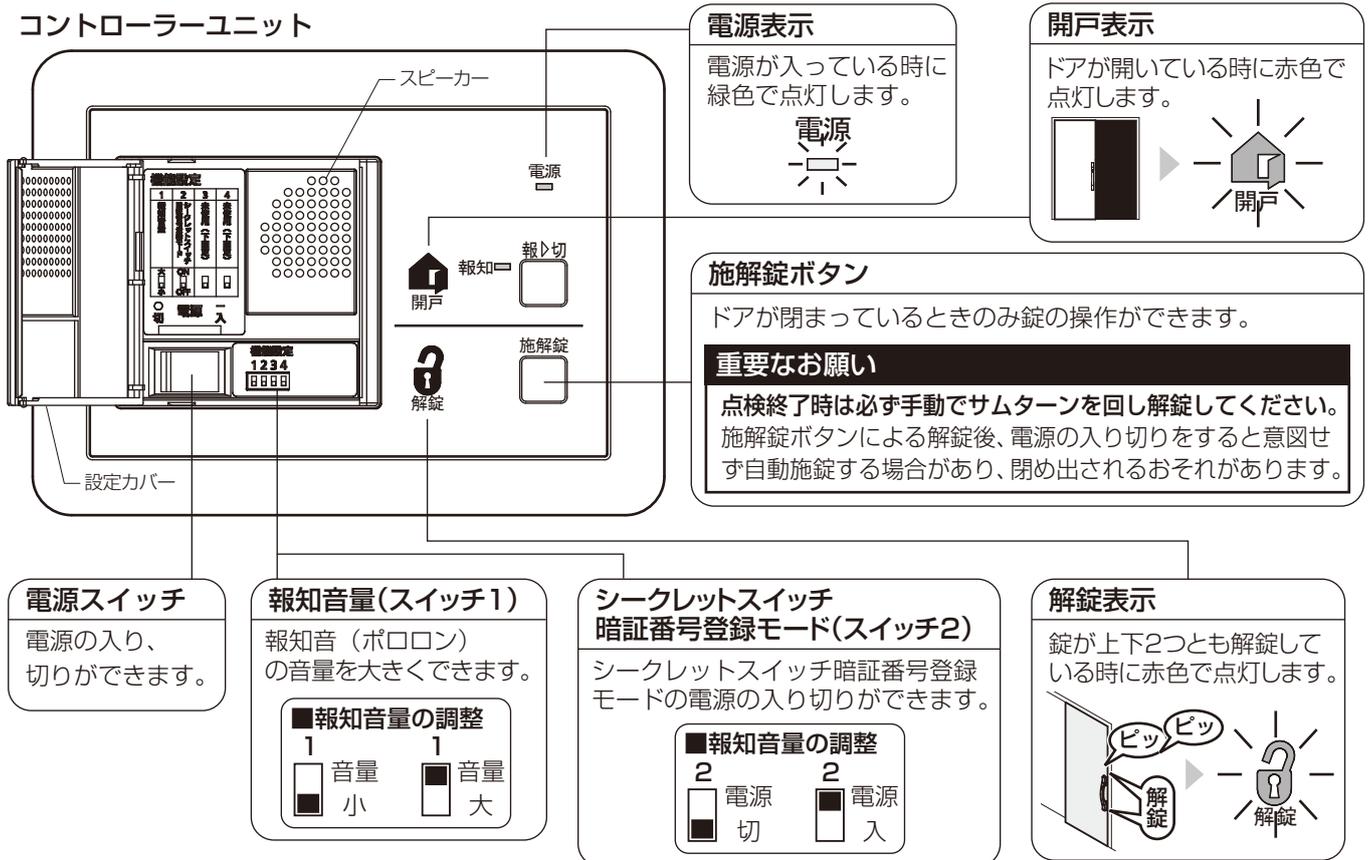
③ドアを閉め施解錠ボタンを押し、施解錠できるか確認します。



※入荷時のコントローラーは未登録状態となっており施解錠操作できません。登録するには解錠状態で5分放置、または施解錠ボタンを押ししてください。

※エラー音、エラー表示が点く場合は、P.18を参考に対処してください。

コントローラーユニット



※防犯のため、お施主さま引渡し後、速やかにシークレットスイッチの暗証番号を登録してください。

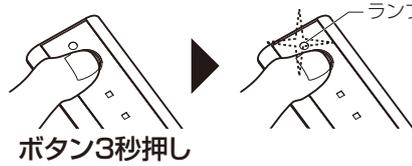
その他オプション品の設定、動作確認方法は、各機器に付属されている説明書に添って行ってください。確認後、引渡し時まで電源スイッチをOFFにしてください。

■リモコンキーを使った動作確認

リモコンキーの登録

※キー付きリモコンも同様です。

リモコンキーはボタン長押しで電源をON/OFFできます。



ボタン3秒押し

電源OFFの場合
(ON→OFF)

ランプが緑色に
点滅(5回)

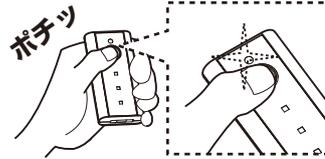
電源ONの場合
(OFF→ON)

ランプが緑色に
点灯(1秒間)

室内側

①登録したいリモコンキーをすべて集めます。
※新たに1個でも登録するとそれまでの登録データが全て消去されるため、今まで登録されていたリモコンキーも再登録しない限り使用できません。

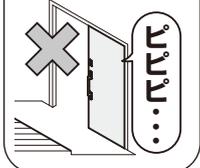
リモコンキーのボタンを押してランプが点灯する(電源がONになっている)事を確認します。



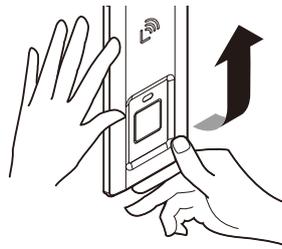
ドアを閉め、施錠します。



解錠またはドアが開いていると登録できません。

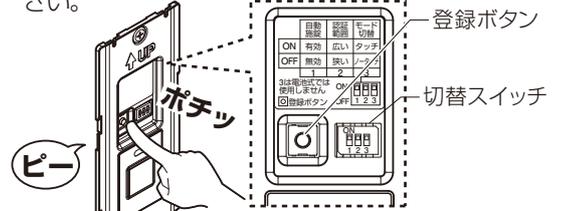


②室内側のリーダーから化粧プレートを外します。

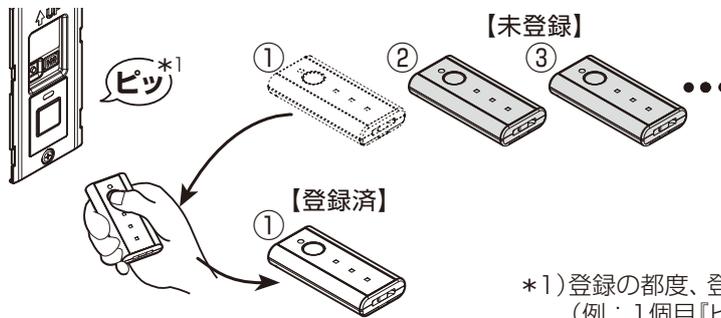


化粧プレートが落ちないように支えてください。そのまま図の通りに下から押上げ、上へスライドさせてください。

「ピー」音が鳴るまでリーダーの登録ボタンを押します。
※「ピ」音が8回鳴る場合はドアを閉め、施錠してください。



③1個ずつリモコンキーのボタンを押し、登録します。



■お知らせ

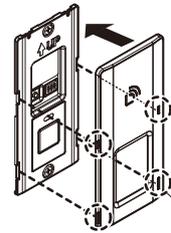
- ・1台のドアにリモコンキーは最大10個まで登録できます。
- ・ドアを解錠するか、10個目のリモコンキーを登録するとすぐに登録終了(④)になります。
- ・1つのリモコンキーを複数のドアに登録する事が出来ます。(数の制限はありません。)

*1)登録の都度、登録済み個数分だけ「ピー音」が鳴ります。
(例：1個目「ピー」、2個目「ピー、ピー」)

④30秒ほど待つと登録が終了し、「ピー」音の後、登録個数分「ピー」音が鳴ります。



化粧プレートを元に戻します。



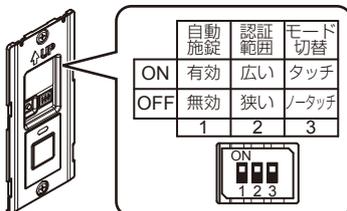
ツメ位置を合わせ、化粧プレートをはめてください。



化粧プレートの周囲にすき間に取付け、下にスライドさせてください。

*1)切替スイッチについて

室内側リーダーの切替スイッチにて各種設定を変更することができます。



1. 自動施錠切替スイッチ

自動施錠のON/OFF(有効/無効)を切替えます。

2. 認証範囲切替スイッチ

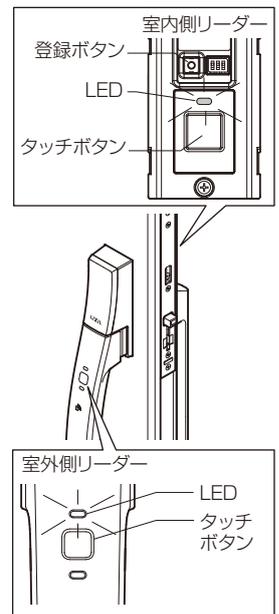
「狭い」にすると認証範囲が「広い」のときの約70%になります。

3. モード切替スイッチ

タッチキーでは使用できません。

■ドアのブザー音と表示について

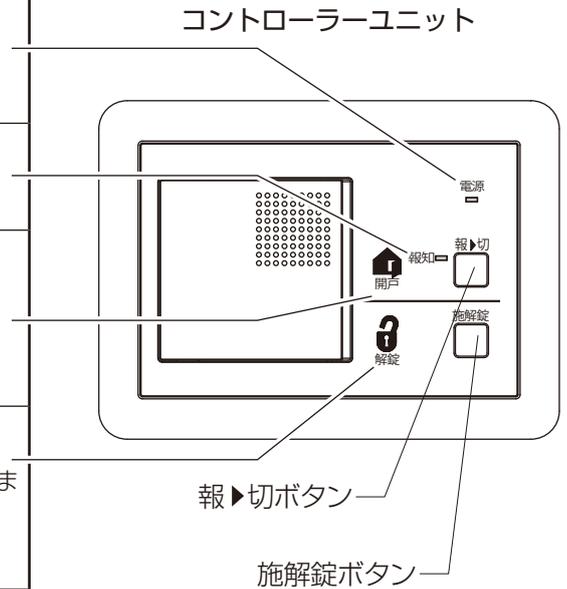
ブザー音	LED 表示内容	お知らせ内容
ピッ ●	緑色で点滅 (5 秒間) ☀ ● ☀ ● …	施錠中にタッチボタンが押され 認証モードに入りました。
	赤色で点滅 (5 秒間) ☀ ● ☀ ● …	解錠中にタッチボタンが押され 認証モードに入りました。
	点滅→消灯 ●	認証モードが終わりました。
	緑色で点灯 (1 秒間) ☀ →	施錠できました。
ピッピッ ● ●	赤色で点灯 (1 秒間) ☀ →	解錠できました。
ピー ●	緑→赤色で交互 に点灯繰り返し ☀ ☀ ☀ ☀ …	登録ボタンが押され登録モード に入りました。
	点灯→消灯 ●	登録モードが終わりました。



ブザー音	LED 表示内容	お知らせ内容	対処内容
ピピピピピ ●●●●●	橙色で点滅 (1 秒間) ☀ ● ☀ ● …	ドアが開いた状態で施解錠操作 が行われました。	ドアを閉じてください。
		サムターン作動途中でドアが開 けられました	手でサムターンを回し解錠に してからドアを閉じてください。
		上箱錠の取付け不備、もしくは 故障時に施解錠操作が行われま した。	箱錠のコネクタを接続してく ださい。それでも復帰しない 場合は部品の交換が必要です。
ピピピピピピピ (8 回) ●●●●●●●●	消灯のまま ●	開扉時、もしくは施錠されてい ない 時に登録ボタンが押され ました。	登録時はドアを閉め、施錠し てください。
ピピ × 8 ●● ●● ●● ●● …	橙色点滅 (2.5 秒間) ☀ ● ☀ ● …	上の錠 (デッドボルト) がスト ライクに接触しています。	ドアが確実に閉まっているこ とを確認し再度電気錠操作で 動かしてください。それでも 同様のブザー音が鳴る場合 は、建付け調整を行ってくだ さい。→ (P.9 ①②)ストライ クの調整参照)
ピピピ × 6 ●●● ●●● ●●● …		下の錠 (デッドボルト) がスト ライクに接触しています。	
ピピ、ピピピ × 3 ●● ●●● ●●● …		上下の錠 (デッドボルト) がス トライクに接触しています。	
ピーピピ × 4 ●●●● ●●●● …	橙色で点灯 (5 秒間) ☀ →	上箱錠の取付け不備または故障 しています。	箱錠をドアから完全に取外し、 再度取付けてください。それ でも復帰しない場合は部品の 交換が必要です。
ピーピピピ × 4 ●●●● ●●●● ●●●● …		下箱錠の取付け不備または故障 しています。	
ピーピピ、ピーピピピ × 2 ●●●● ●●●● ●●●● ●●●● …		上下箱錠の取付け不備または故 障しています。	
—	橙色で点滅 (5 秒間) ☀ ● ☀ ● …	玄関キー (リモコンキー) が登 録されていません。リモコンキ ーが 1 度も登録されていない状態 では、自動施錠しません。	リモコンキーの登録を行って ください。→ (P.16)

■コントローラーユニットのブザー音と表示について

表示内容	お知らせ内容
電源表示が緑色で点灯 電源 	電源が入ってます。
報知表示が緑色で点灯 報知 	報知設定になっています。
開戸表示が赤色で点灯  開戸	ドアが開いています。
解錠表示が赤色で点灯  解錠	カギが上下2つとも解錠しています。



ブザー音	表示内容	お知らせ内容	対処方法
ピッ		施解錠ボタンが押されました。	
ピッ、ピッ、……		暗証番号登録モード中です。	
ピー		暗証番号登録ができました。	
ポロン、ポロン… ※初期設定では音は鳴りません。	報知表示が緑色で点灯中に 開戸表示が赤色の点灯 	ドアが開けられました。	ドアを閉めてください。
ピー、ピッピッピッ音が 一度だけ鳴る	電源表示と報知表示が 交互に点灯する 電源□ ↔ 報知□	駆体内配線コードが短絡して います。	【電気工事区分】 駆体内配線の短絡個所を確認し 修理してください。
—	開戸表示と解錠表示、報知 表示が同時に点滅する。	制御ユニットとコントローラー ユニット間の通信が24時間 途切れました。	コネクター接続個所と配線を確認 してください。

■リモコンキーのランプ表示について



※キー付きリモコンの場合



ランプ表示内容	お知らせ内容	対処方法	
赤色で点灯 ☀	ボタンが押され、操作信号が発信されました。	/	
緑色で点灯 ☀	ドアからの通信電波を受信しました。		
緑色で5回点滅 ☀ ● ☀ ● ● ● ● ●	ボタンが長押しされ、電源がOFFになりました。		
緑色で点灯 (1秒間) ☀ →	ボタンが長押しされ、電源がONになりました。		
赤色で3回点滅 ☀ ● ☀ ● ☀	電池容量が残りわずかになりました。		電池 (CR2032) を新品に交換してください。
赤色で点灯し続ける ☀ →	リモコンキーに異常があります。		リモコンキーを交換してください。

商品仕様

■コントローラーユニット

電源仕様	AC100V 50/60Hz
消費電力	最大：約8W / 待機時：約1.5W
出力電圧	DC7.2V
音量	報知音(大)：約73dB (前方1m)
使用環境温度範囲	-10～50℃
使用環境湿度範囲	20～90% (相対湿度)
保存環境温度範囲	-20～60℃

■ドア側

入力電源仕様	DC7.2V (コントローラーユニットより給電)
出力周波数	426MHz / 135.5kHz
電界強度	70dB μ V/m / 118dB μ V/m (参考値)
無線局の種別	特定小電力無線 / 誘導式無線設備
使用環境温度範囲	-10～50℃
使用環境湿度範囲	20～90% (相対湿度)
保存環境温度範囲	-20～60℃
リモコンキー登録数	最大 10個

■リモコンキー、キー付きリモコン

入力電源仕様	DC3V リチウムコイン電池CR2032
電池寿命	約1年 (常温20℃ 操作：10回/日)
出力周波数	426MHz
電界強度	63dB μ V/m (参考値)
無線局の種別	特定小電力無線
使用環境温度範囲	-10～50℃
使用環境湿度範囲	20～90% (相対湿度)
保存環境温度範囲	-20～60℃

MEMO

株式会社 LIXIL

商品についてのお問い合わせ・部品のご購入は、お客さま相談センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00(ゴールデンウィーク、夏期休暇、年末年始等を除く)

TEL. ☎ 0120-126-001

●旭トステム外装株式会社のサイディング材に関する商品相談は

旭トステム外装(株) サービスデスクナビダイヤル TEL.0570-001-117

修理のご依頼は、LIXIL修理受付センターまで

受付時間/月～金 9:00～18:00(祝日、年末年始、夏期休暇等を除く)

TEL. ☎ 0120-413-433 FAX. ☎ 0120-413-436

<https://www.lixil.co.jp/support/>

安全に関するご注意

ご使用前に「取扱説明書」をよくご覧の上、正しくお使いください。また、取付設置工事は「取付設置説明書・施工説明書」に従ってください。いずれの場合も、取り扱いを誤ると事故や故障の原因となります。

個人情報保護について

当社は、当社取扱商品のユーザーさまおよび流通業者さま等の個人情報を商品納入にあたって取得し、将来にわたる品質保証、メンテナンス、その他当社の「個人情報保護方針」に記載の目的のために利用させていただきます。個人情報の取り扱いについての詳細は、当社オフィシャルサイトの「個人情報保護方針」をご覧ください。

●商品改良のため、予告なしに仕様の変更を行うことがありますのでご了承ください。

株式会社 LIXIL

会社や商品についての情報のご確認は、LIXIL オフィシャルサイトまで

<https://www.lixil.co.jp/>

※ショールームの所在地、カタログの閲覧・請求、図面・CAD データなどの各種情報は、上記オフィシャルサイトからご確認ください。

取説番号 MAM-954A	事業所コード AXU6	2023.3.31発行
---------------	-------------	-------------

